

令和2年10月9日

保護者様

仙台市立西多賀小学校  
校長 板垣 和幸

1学期、ありがとうございました。

初秋の候、西多賀小学校の保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より、本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本日、第1学期が終了いたしました。不安だらけの新学期、そして6月の学校再開、それから本日を迎えるまで先が見えない中で、保護者の皆様、地域の皆様には、子供たちのため、学校のために多大なる御協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

思い起こしますと、新型コロナウイルスについては当然ながら未知のことでしたので、6月の学校再開を迎えるにあたっては、マニュアルを作成しても本当に大丈夫なのかという不安は払拭できず、まさに手探り状態と言っても過言ではありませんでした。その思いは大切なお子さんをお持ちの保護者の皆様はなおさらのことだったと思います。それでも保護者の皆様や地域の皆様に学校の方針を御理解いただき、御協力いただきながら歩みを共にできたことが大変心強く、ありがたいことでした。感謝いたします。

先日クラブ活動が行われていました。職員室から校庭を眺めると、校庭には三つの色の帽子の子供たちがおに遊びやボール遊びを楽しんでいました。以前はこのような光景は当たり前の「日常」でしたが、今年度はクラブ活動が再開されるまでは見られない光景でした。その様子を見て、私自身、改めてクラブ活動のねらいの大切さを感じる機会となりました。異学年の子供たちが交流する時間の意義、これはこれからの子供たちの成長にはとても大きいものと改めて感じたのでした。また実施ができるかどうか不安でもあった5年生の野外活動も1泊2日で実施しました。子供たちも楽しんでいた様子で、保護者の方からも、お子さんが帰宅してからたくさん野外活動の様子を話してくれたと、大変ありがたい感想を担任にお寄せいただきました。本当に実施できてよかったと思います。同じように、他の学年のバスによる校外学習の実施、6年生の10月修学旅行に向けての準備など、少しずつですが西多賀小学校の「日常」が戻ってきつつあることを感じています。

そんな日常にあるもの、そして守りたいものは子供たちの「笑顔」です。学んで楽しい、友達と過ごして楽しい、行事が楽しい、そんな笑顔のある学校に少しずつですが、戻りつつあります。先生方は毎日の授業の準備をし、子供たちと過ごし、給食室のスタッフは安全でおいしい給食を毎日提供し、技師は校舎内の清掃や校地の保全に取り組み、学校事務職員は事務仕事だけでなく、子供たちの環境を整え、そのほかにも図書館運営や校内の消毒など、西多賀小の全スタッフがその笑顔を守るために日々努力しています。校長として、そのことに感謝しながら学校運営に取り組んでおりますが、やはりいつも同じ方向を向いて協力くださる保護者や地域の皆様の姿勢を大変心強く思った1学期でした。本当にありがとうございました。

今年度は秋休みがなく、13日からすぐに2学期が始まろうとしています。今後ともお子さんの家庭での健康観察や体調管理をお願いし、元気な体で登校させていただきますようお願い申し上げます。

2学期も子供たちの笑顔のある学校生活を創造できるよう、職員が一体となって努力していく所存です。1学期における保護者の皆様、地域の皆様の御協力への感謝とこれからも変わらぬ御協力をお願い申し上げ、1学期の御挨拶とさせていただきます。皆さんで心と力を合わせて、子供たちを育てていきましょう。